

第 1 3 回三番瀬評価委員会の結果について

- 1 開催日時 平成 2 1 年 8 月 2 7 日 (木) 午後 6 時 0 0 分から 8 時 3 5 分
- 2 場 所 千葉県国際総合水泳場会議室
- 3 出席者 委員 7 名
(細川座長、蓮尾副座長、野村委員、望月委員、岡安委員、宮田委員、横山委員)
- 4 参加人数 1 6 名
- 5 配布資料
資料 1 第 1 2 回三番瀬評価委員会の結果について
資料 2 - 1 平成 2 0 年度三番瀬水環境モニタリング調査業務報告書 (概要版)
資料 2 - 2 平成 2 0 年度三番瀬深淺測量調査業務報告書 (概要版)
資料 3 第 1 2 回評価委員会での質疑・指示事項への対応について
資料 4 平成 2 2 年度実施予定の三番瀬総合解析について (望月委員メモ)
資料 5 プロポーザルによる発注案について
(資料番号なし) 三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会 座長まとめ
- 6 結果概要
 - (1) 開会
県総合企画部森理事からあいさつがあった。
 - (2) 開催結果の確認委員
細川座長からの指名により、蓮尾副座長、岡安委員が会議開催結果の確認を行うこととなった。
 - (3) 議事
議題 1 第 1 2 回三番瀬評価委員会の結果について
事務局から、第 1 2 回三番瀬評価委員会の開催結果 (資料 1) 及び第 1 2 回評価委員会での質疑・指示事項への対応 (資料 3) について説明があった。

議題 2 「三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会」の結果について
細川座長から三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会 (資料番号なし) について説明があった。
細川座長説明要旨
三番瀬モデルをゼロから作るよりも、既に三番瀬で使用したモデルを、条件をしっかりと設定して活用していくことを考えていきたい。
平成 2 0 年度深淺測量調査については、何点かの指摘事項があり、再整理を依頼した。
【主な意見】
会場意見 これから行う総合解析で、平成 1 5 年度に行った総合解析の結果との相違点が出た場合は、その評価をしてほしい。

会場意見 平成 20 年度調査の報告書案で、青潮発生時の場所の記述及び深
浅測量調査の過去との比較の記述で、あいまいな表現があるので、検討
願いたい。

議題 3 三番瀬自然環境総合解析に係る作業について

過去の総合解析に、主体的に関わった望月委員から、平成 22 年度実施予
定の三番瀬総合解析（資料 4）について、また、事務局からプロポーザルによる
発注案（資料 5）について説明があり、意見交換が行われた。

【主な意見】

横山委員 ある程度の作業内容はこちらで決めておいて、それ以外の独自の
アイデア等を工夫してもらうのがよいのではないか。

岡安委員 総合解析は本質的には学術研究の領域で、業務委託になじまない
ので、本来は、研究センターのような所に研究者を充てて、研究してい
くのがよいと思う。

次善の策としては、プロポーザル方式のほうがいいのかもかもしれないが、
その場合は、資料 4 に記述されている、「評価委員会がすべての責任を負
う」というのは、ちょっと無理だと思う。

蓮尾副座長 望月委員の指摘にもあったが、司令塔は県中央博物館や研究セ
ンターの県職員が行うべき。

野村委員 以前の評価委員会で、県で総合解析等に係る人材を確保するとい
う話が一緒に出たことがあるが、どうなっているのか。

(回答：事務局) 生物多様性センターが出来たので、連携を取って進めてき
ている。

細川座長まとめ

本日の検討結果として、9月2日の第28回三番瀬再生会議への報告事項と
しては、

1 年間を通じて総合解析の解析作業を具体的に指示し、全体を管理してい
く指導者が必要であり、指導者は、専門的知識を持った千葉県職員が行うこ
とが望ましい。

発注にあたり、事業者に企画書を提案させるプロポーザル方式も考えられ
るが、必要な分析項目等は県から提示する必要があり、現時点では、三番瀬
の水の流れを類推し、その影響を予測するためのシミュレーションモデル計
算、三番瀬に関連する他の調査データの収集、行徳湿地の自然環境の記述の
追加等が挙げられている。

今後、総合解析検討の過程で判明した、必要な作業等についても、出来る
限り、対応してほしい。

という内容を取りまとめて、各委員に確認のうえ、報告することとする。

議題 4 その他（連絡事項）

次回の三番瀬評価委員会の日程は 11 月上旬をめどに日程調整を行う。

(4) 閉会